

サンティアゴ・デ・クーバでのプロジェクト完成式

2019年8月27日

8月22日、サンティアゴ・デ・クーバ市にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「サンティアゴ・デ・クーバ県2病院医療機材整備計画」の完成式が行われました。式典には、藤村和広大使が、林源太書記官および竹森久美子草の根委囑員と共に出席し、また、エリザベス・オジェール サンティアゴ・デ・クーバ県保健局副局长、ロベルト・アルバレス サンティアゴ・デ・クーバ県保健局国際協力局長、ラファエル・ネイラ コンラド・ベニテス臨床腫瘍病院長、ビクトリア・サンチェス グアママ市保健局副局长、マリア・アダムス サンティアゴ・デ・クーバ県人民権力議会国際協力局担当官、ルイス・イバニェス 外国貿易・投資省東部支局担当官らが参加しました。



本プロジェクトでは、サンティアゴ・デ・クーバ県保健局に対し 78,115 ユーロを供与し、コンラド・ベニテス臨床腫瘍病院及びヒラルド・アポンテス・フォンセカ病院に、日本製の X 線画像デジタル化機材を整備しました。この機材は、X 線画像を数分でデジタル化し鮮明な画像を映し出すことができるため、以前よりも多くの患者に対して、より精密な検査を行うことが可能になります。

本プロジェクトは、日本が新たな「令和」の時代になってから初めて完成式を行った協力案件の一つです。式典の後、藤村大使一行は病院内を視察しました。



[藤村大使の挨拶文はこちらをクリック](#)

案件概要:

案件名:「サンティアゴ・デ・クーバ県2病院医療機材整備計画」

供与金額:78,115 ユーロ

被供与団体: サンティアゴ・デ・クーバ県保健局

概要: サンティアゴ・デ・クーバ市コンラド・ベニテス臨床腫瘍病院およびグアママ市ヒラルド・アポンテス・フォンセカ病院にX線画像デジタル化機器を整備する。また、ヒラルド・アポンテス・フォンセカ病院内の通信網を整備する。

プロジェクト・サイト



**Colaboración del
Pueblo Japonés**

開発協力班
在キューバ日本国大使館
電話: (+53) 7204-3355, 7204-8904
メールアドレス: cooperacioneconomicsacuba@hv.mofa.go.jp
www.cu.emb-japan.go.jp
https://web-japan.org/index_es.html